

全国農業新聞

NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

2025年(令和7年)
10月増刊号

2025年(令和7年)10月3日(金)

多くのメリット知り加入

新規就農者に良さを広めたい

山梨 奥村 梓さん

【山梨】甲州市で両親とシャインマスカットをメインにブドウ約9種を栽培する奥村梓さん(31)。大学卒業後、神奈川県で公務員として勤務していた当時、

実家のブドウを購入してくれた同僚から「とてもおいしかった」という感謝の言葉を聞いて農業のすばらしさに改めて気づき、親元就農した。

就農2年目の現在は栽培品種を増やすなど日々の農



親元就農した奥村さん

作業に加え、販路のさらなる拡大やSNSによる情報発信、確定申告の準備など

に奮闘している。奥村さんが農業者年金に加入したのが今年1月。県やJA主催の研修で農業者年金を知ったことがきっかけだった。公務員時代とは

違い、個人事業者になったことで将来のことを考え、制度について詳しく調べた。

将来受け取る年金を自分で積み立てていくため少子高齢時代に強いこと、保険料額を自由に設定できること、支払った保険料が全額控除になり節税効果が期待できること、条件を満たすことで政策支援を受けることができる——などメリットが多いことがわかり、加入に踏み切ったという。

自身が就農してすぐに農業者年金の存在を知ることができた経験から「農家の将来を考えるとメリットが多いので、周りの新規就農者などに農業者年金の良さを広めていきたい」と笑顔で話した。